

事業計画を策定

京商ビジョンNEXT 3年目の重点課題

1 「連携」「交流」による知恵ビジネスのさらなる創出

第11回を迎える「知恵ビジネスプランコンテスト」の実施に加え、京都経済センターの連携・交流拠点である「オープンイノベーションカフェ」を活用し、知恵ビジネス企業のさらなる集積やネットワークの拡大に取り組みます。また、「京都知恵産業フェア2020（仮称）」の開催による販路開拓支援や「京都海外ビジネスセンター」との連携による京都企業の海外展開への支援を強化します。



交流の拠点となる
オープンイノベーションカフェ

2

文化庁移転や万博開催を見据えた「文化×産業の創造」「文化×まちづくり」などクロスバリュークリエーションの推進

本年9月に「文化×知恵産業展（仮称）」を開催し、伝統産業の魅力を広く発信するとともに、多種多様な伝統技術や知恵の交流を通じて新たな価値創造を促進します。また、「観光振興クロスセミナー（仮称）」を実施し、文化や伝統産業、IT等を活かした先進事例の紹介や分野を超えた交流を通じて、新たな観光ビジネスの振興を図ります。



「文化×知恵産業展（仮称）」を開催予定（9月3日～5日）

3

未来を担う産業人材の育成支援

新たな起業家の発掘や育成を進めるため、「創業塾」や起業後3～5年目の起業家を対象とする「京商フューチャーセッション」を強化して実施します。また、スタートアップ企業の起業家がビジネスアイデアを発表する「知恵産業オープンイノベーションピッチ」を開催し、投資家や支援機関等との対話や交流を通じて成長の支援を強化します。



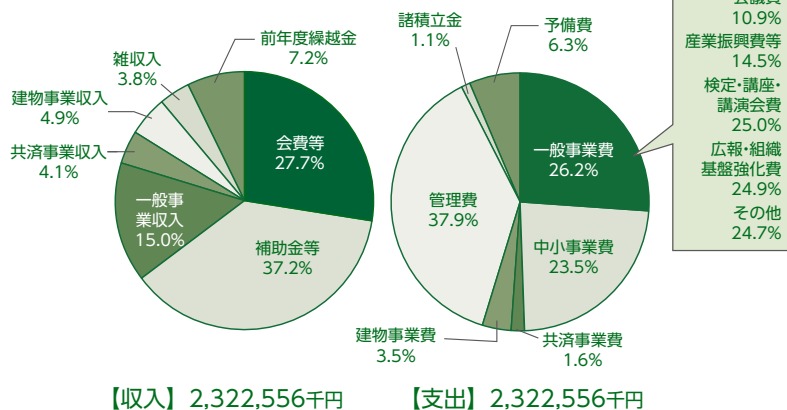
起業家と投資家等との交流を促進するピッチイベントを実施

京都商工会議所 2019年度予算

<経常会計>	
会計名	予算額
一般会計	1,217,309
中小企業支援事業特別会計	991,647
共済事業特別会計	172,935
建物運営管理費特別会計	129,902
合計	2,511,793
会計間の繰入額	189,237
純計	2,322,556

<建物建設特別会計>	
会計名	予算額
京都経済センター建設特別会計	4,448,834
合計	4,448,834

※建物建設特別会計は右記グラフに含まず



- 会議費 10.9%
- 産業振興費等 14.5%
- 検定・講座・講演会費 25.0%
- 広報・組織基盤強化費 24.9%
- その他 24.7%

C 会員とともに 挑戦し続ける京商

C1 会員交流・サービスの 充実・強化

- ・全会員の参画機会向上を目指す「会員交流強化プロジェクト」の推進
- ・「定例会員講演会」やオンラインセミナーなどの開催
- ・会頭・部会長、全職員による会員訪問の実施
- ・部会・委員会活動の活動支援
- ・女性会・青年部の活動支援
- ・「京商はんなり共済」の継続条件の緩和など、共済制度の普及促進

C2 情報発信機能の強化

- 新** 会報誌「京ビジネスレビュー」発行に加えて増刊号発行による会員向け情報発信の強化
- ・WebサイトリニューアルやSNSの強化などによる本所サービスの発信充実
- ・首都圏、海外への会員企業の情報発信支援の強化
- 新** 若手美術・工芸作家育成のための事務所内における作品展示やマッチングの支援
- ・第11回京商政策フォーラムの開催や国、府、市への要望活動など意見・提言活動の強化

C3 組織基盤の強化

- ・12,500会員を目標とした全役職員による会員増強運動の実施
- ・京都府商工会議所連合会の機能強化による府内商工会議所との連携強化
- 新** (一社)京商知恵産業創造の森との連携強化
- ・府内経済団体、関西・北陸等の関係諸機関との連携強化
- ・議員選挙・選任の実施
- 新** 本所不動産処分積立金活用検討会議(仮称)の設置
- ・SDGsを踏まえた次期ビジョンの策定

本所事業計画の詳細ホームページ
<http://www.kyo.or.jp/kyoto/>
 でご覧いただけます



B 多様な人々が交流し 創造性豊かなまち

B1 文化 × 産業の創造

- 新** 「文化×知恵産業展(仮称)」の開催
- ・「KYOTO CMEX2019」の開催などコンテンツ産業の振興
- ・伝統工芸産業のイノベーションに向けた「伝統工芸産業NEXTサロンの実施
- 新** 「文化庁への支援検討ワーキングチーム(仮称)」の設置
- ・「きもの文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた関係機関との連携
- ・「きものウィーク」や「きものの日」の普及促進
- ・和装関連団体と連携運動した「第27回ファッションカンタータ from KYOTO」の開催

B2 文化・観光都市の推進

- ・びわ湖疏水船をはじめとした産業遺産や文化財の活用による新たな観光資源の開発推進
- 新** 文化、伝統産業、IT等を活かす「観光振興クロスセミナー(仮称)」の実施
- ・「京津奈・古(いにしえ)の三都めぐり」の実施
- ・「京都・花灯路」、「京の七夕」、「祇園白川桜ライトアップ」など夜観光充実事業の支援・実施

B3 京都のブランド価値 向上の推進

- ・「京都創造者大賞2019」の実施
- 新** 第16回京都・観光文化検定試験「準1級認定」の新設や広報強化による受験者拡大
- ・2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた「京都文化カプロジェクト」への参画
- ・MI(企業ミーティング、インセンティブ旅行)分野誘客の推進
- ・「京都サンガF.C.」「京都ハンナリーズ」などの京都のプロスポーツチームの支援
- ・「京都スマートシティエキスポ2019」の開催支援

B4 交流と賑わいの 都市づくり促進

- ・京都駅西部・東部・東南部エリアにおける新たな賑わい創出の促進
- ・北陸新幹線の早期大阪延伸の促進や「北陸・関西連携会議」の開催
- ・リニア中央新幹線の東京・大阪間全線早期開業および京都ルート誘致の推進
- ・京都市と隣接する自治体を結ぶ幹線道路の整備促進
- ・「京都府立京都スタジアム」の建設促進
- ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向けた機運醸成
- 新** 2025年大阪・関西万博開催に向けた協力

A 知恵が集積し 活力溢れる京都産業

A1 知恵ビジネス支援

- ・第11回「知恵ビジネスプランコンテスト」の実施
- ・知恵ビジネスの裾野を広げる「知恵産業の森サロンの開催
- ・「知恵産業・経営大会2019」の開催
- ・知恵を引き出す「強み発掘プロジェクト」等による『知恵ビジネスプラン3000社創出支援プロジェクト』の実現
- ・「創業塾」などの創業支援講座、起業家支援事業「京商フューチャーセッション」の実施
- 新** ベンチャー起業家支援「知恵産業オープンイノベーションピッチ」の開催

A2 中小企業しっかり応援

- 新** 「中小企業応援センター」を通じた各支援機関との連携
- 新** 親族承継・事業承継税制対応のための専門相談窓口の設置
- 新** 京都経済センター入居機関との連携による事業承継の譲受案件発掘と譲渡案件とのマッチング強化
- ・小規模事業者・中小企業の生産性向上を目指したIT/IoT活用の推進
- ・消費税率引上げに対応した経営基盤強化、軽減税率制度導入の対応支援

A3 販路開拓支援

- ・オール京都による販路開拓「京都知恵産業フェア2020(仮称)」の開催
- ・「テーマ別商談会(事前マッチング型)」や「京都知恵ビジネスセレクション」など販路開拓支援事業の拡充
- ・JETRO京都を中核とした「京都海外ビジネスセンター」との連携による海外展開支援の強化
- ・アジアへのビジネスミッションの派遣
- ・アジア市場開拓チャレンジ事業の実施
- 新** 「京都ブランド海外展開助成金(仮称)」の創設

A4 人材確保・育成支援

- ・京商ビジネススクールの充実(定期公開セミナー特別プログラムの拡充)
- 新** 京の企業合同入社式の開催
- ・新卒採用のための大学生に向けた中小企業情報発信支援事業「京の中小企業ワークナビ」の充実
- ・「中小企業業界研究会」や「企業採用担当者」と大学就職担当者の情報交換会などによる中小企業と大学との関係強化
- ・会員企業への情報提供等による働き方改革の推進
- ・女性・障がい者・高齢者・留学生等の活躍支援